

事前に出された意見・回答（総務市民委員会所管）

項目
<p>【要約】通勤バス利用について、ダイヤ改正により不便になった。</p> <p>【詳細】通勤で西鉄バスを使っています。10/1のダイヤ改正で、西鉄二日市発山口行きを終バスが18時53分から18時50分に繰り上がるとのこと。困ります。かつては20時23分まで運行していましたが、それも間引かれて不便しています。今回たかが3分の繰り上がりですが、西鉄電車との接続も心配です、毎日のことなので。企業のことで恐縮ですがご相談します。</p>
<p>【回答】現在、西日本鉄道（株）より、ダイヤの改正や路線バスの廃止申出がなされています。主な理由は、バス運転士不足が最大の課題であり、路線維持が困難で、休出等で対応している状況です。そのため、ダイヤや路線のありかたの見直し、運転士の労働環境等を総合的に勘案のうえ実施されたと伺っております。筑紫野市では、持続可能な地域公共交通の提供・確保のために「筑紫野市地域公共交通計画」を策定しています。市議会としても、「地域公共交通検討協議会」を立ち上げ、西鉄・コミュニティ・福祉・デマンドバスなど地域公共交通の充実に向けて議論を重ねておりますので、頂いたご意見は、所管の課へお伝えさせていただきます。</p>

【要約】外国人問題について、外国人土地法に関して各自治体でも法的措置が施行できるよう、国への要請で実行できるように要請してほしい。生活保護、国民保険を目的とした外国人に厳しい審査をお願いしたい。

【詳細】朝倉市の福岡センチュリーゴルフの土地所有者で中国人向マンション建設計画があります。ある衆議院議員から降りてきた案件みたいです。北九州、福岡市でもインド人移民が創設されてます。外国人留学生優遇措置により筑紫野市でも外国人がより多く見受けられます。法がマトモに作用できてない状態で外国人が増え続け受け入れスピードが早すぎるのは危機感を感じます。また、太宰府市でも中国人が重要土地を購入したり、無断利用など中国人による日本侵略が目につきます。外国人土地法は国でしか施行することができないみたいなので、筑紫野市から国に各地自体でも法的措置が施行できるよう、もしくは国への要請で実行できるよう、要請をしてほしいです。また、生活保護、国民保険を目的とした外国人には厳しい審査をお願いします。ヨーロッパ、ウィグルなど世界で移民問題は犯罪を始め問題になっています。日本は移民を進めてますが、今後大きな問題となってきます。筑紫野市から全国に発信できるように「外国人土地法」「移民問題（生活保護、国保の悪用）」を取り上げて欲しいです！宜しくお願い致します。

【回答】ご指摘の「外国人問題」に関するご懸念につきましては、全国的にも関心が高まっている課題であると認識しております。まず、「外国人による土地の取得」については、現行法上、外国人であっても一定の条件のもとで土地の取得が可能となっています。市町村レベルで独自に土地取得を制限する権限は現行制度上は認められておらず、この点については国の法制度のもとで運用されているのが実情です。次に、「生活保護や国民健康保険等の制度利用」についてですが、いずれも法律に基づき、公平・適正に運用されております。外国人の方がこれらの制度を利用する場合も、適法な在留資格や生活実態を厳正に確認した上で、国の基準に沿って審査が行われています。議会としても、制度の適正な運用が確保されるよう、行政に対し監視・提言を行ってまいります。また、国もこれらの問題に対する是正の議論がなされていますので、引き続き、国や県の制度改正の動向を注視しつつ、地方自治体の立場から意見を述べる機会を検討してまいります。

【要約】外国人問題について、外国からの移民やマンション建設などの話が問題になっているが、筑紫野市ではそういった施策等が進んでいるのか。

【詳細】今、外国からの移民や、朝倉市の中国人マンション建設などの話が問題になっています。市民としては治安が悪くなることは許されないことです。筑紫野市ではそういった施策等か進んでいるということはありますか？心配しています。

【回答】ご指摘の外国人向けのマンション建設などに関しまして、市の都市計画課に確認したところ、「開発許可に関する事前の相談もなく、そのような計画もない。」と伺っております。議会といたしましても、引き続き、市民の皆様が不安にならないように注視していきたいと考えております。

【要約】 地域活性のために、国際交流を深めたりグローバル化を進めていく計画や展望があるか知りたい。

【詳細】 東京都とエジプト、北九州市とインド・テランガナ州の協力協定のような、地域活性の為に、国際交流を深めたりグローバル化を進めていく計画や展望があるか知りたいです。

【回答】 本市では、地域における国際交流の推進や多文化共生の理解を深めるため、現在、「にほんご教室」の開催や、アジア太平洋子ども会議におけるホストファミリー受け入れなど、交流活動を実施しているところです。これらの取組は、市民と外国人の相互理解を促進し、多様性を尊重する地域づくりの一助となっております。一方で、自治体間の国際協力協定やグローバル化を進めていく計画等については、現時点では本市として具体的な計画はございませんが、「第七次筑紫野市総合計画」において異文化理解の推進が掲げられております。国際化が進む中で、多文化共生社会の実現や、地域の活力向上を図ることは重要な課題であると認識しておりますので、国際交流やグローバル化の推進について調査等の検討を進めてまいりたいと考えております。

【要約】旧市役所跡地について、今後の計画、活用方法を知りたいのと道路の改善をお願いしたい。

【詳細】役所が移転して数年経ちますが、旧市役所庁舎は今後もあのままですか？草が生い茂って歩道に飛び出ている時があります。前にある車道も歩道も狭いので自転車やベビーカーで通行の際とても不便に感じています。夜間も街灯が少ないため危険ではないでしょうか。今後の計画、活用方法を知りたいのと道路の改善をお願いします。

【回答】旧市役所跡地につきましては、新たに二日市コミュニティセンターを建設する予定であります。道路の改善や除草の要望などに関しましては、関係機関へお伝えさせていただきます。

【要約】市の広報配布について、現在各地区区長の職務事項になっており負担感を感じます。専門の宅配業者等に任せる方法できないものか。大世帯の自治会ではいろいろと苦勞されている。

【詳細】市の広報配布（各戸）について、現在各地区区長の職務事項になっており負担感を感じます。当市人口増が激しい地区、特に３００戸以上ある公民館（自治会）等については、専門の宅配業者等に任せる方法できないものか。大世帯の自治会ではいろいろと苦勞されている。

【回答】市広報配布の宅配業者等への委託についてですが、議会でも先の決算審査特別委員会において、同様の提案をさせていただいております。市の答弁は、「広報誌を配布委託した場合、約４，０００万円の見積りはとっている。また、一つ広報配布の目的である地域の見守り活動という意味合いもあり、現在配布を続けさせていただいているが、今後は、ＳＮＳの発達等もあり、広報の必要性も考慮しながら検討を進めていきたいと考えている。」とのことでありました。引き続き、広報誌配布のあり方について議論を深めるとともに、市に対し要望してまいります。

【要約】各地区に設立されているコミュニティセンターについて、将来的に各地区自治会との関わりはどうかになって行くのでしょうか。

【詳細】各地区に設立されているコミュニティセンターについて、将来的に各地区自治会（公民館）との関わりはどうかになって行くのでしょうか。具体的な方針等があれば聞かせてください。

【回答】各コミュニティ運営協議会と各自治会との今後の関わりについてでございますが、市は令和7年3月に「第二次筑紫野市地域コミュニティ基本構想」を策定しております。その中で、地域コミュニティは、「自治会・町内会等をはじめとする地縁団体や、まちづくり・子育て・防犯を推進する目的を持つ機能団体が、それぞれの特性を生かしながら、様々な地域の課題に取り組み、より安全で安心なまちづくりを目指す地域社会」と定義されております。議会といたしましても、地域のつながりが希薄化する中で、住民の交流や協働の拠点となるコミュニティセンターの役割は、今後ますます重要になるものと認識しております。しかしながら、少子高齢化や担い手不足といった課題もあります。コミュニティ運営協議会と自治会が相互に協力し、地域の実情に応じた柔軟な体制づくりを進めていくことが必要であり、その方向性を後押ししてまいりたいと考えております。市民の皆さまが主体的に地域活動を展開できるよう、行政と議会が連携しながら、持続可能な地域運営の在り方を共に検討していくことが大切だと考えております。今後も、地域の声を丁寧にお伺いし、コミュニティセンターと自治会の連携強化に向けた環境づくりが進むよう、引き続き議論と提案を行ってまいりたいと考えております。

事前に出された意見・回答（文教福祉委員会所管）

項目

【要約】学校給食の添加物使用について、極力添加物を使用しない学校給食を望みます。

【詳細】オーガニック給食を子どもたちに！という意見もあり、私も出来るなら希望しますが、市全体の学校給食の材料を賄うのは、なかなか難しいと思います。それ以前に現在の学校給食ではかなりの添加物が使われています。家庭で同じようなメニューを作るときには、こんな添加物入れないよねというものが様々使われています。どうしてこのように添加物を使った給食を出されるのでしょうか？成長期の子どもたちに体作りに悪影響だと考えます。実際我が家の子どもは、いくつかの添加物に気持ちが悪くなったり頭痛がしたりと反応があり食べれないものがあります。ぜひ、極力添加物を使用しない学校給食を望みます。
(議会報告会には用事があるため間に合わない可能性があります。意見交換会には参加したいと思います。)

【回答】このたびは、学校給食における添加物の使用について貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。ご家庭での体験を踏まえたご指摘も、子どもたちの健康を守るうえで大切な視点であると受け止めております。

現在、筑紫野市の学校給食は、文部科学省の「学校給食衛生管理基準」および厚生労働省が安全性を確認し使用を認めた範囲内の食品添加物を使用しており、衛生と安全の確保を最優先に運営されておりますが、「成長期の子どもたちに、できるだけ安心・安全な食事を提供してほしい」というお気持ちは、私たち議会としても深く共感いたします。

食材については、可能な限り、地元（筑紫野市や福岡県産）のものを活用しており、特に米や野菜を中心に地産地消を進めることで、添加物を避けやすい調理体制に努めています。

献立の中でも、和食中心の料理においては、天拝みそを使用したみそ汁や煮物など、ほぼ「無添加調理」で提供されています。

議会としても、子どもたちの健康を最優先に、可能な限り添加物を減らす方向性が望ましいと考えていますので、そのための具体的取組を検討し、現実的かつ持続可能な形で、より安全で安心できる学校給食を市に求めてまいります。

【要約】放課後に子どもたちだけで自立して遊ばせれる居場所が欲しい。春日市の児童館のような機能をコミュニティセンター等に導入してほしい。

【詳細】気候が安定せず、小学生等は屋外で遊べない環境。3年生以上の学童は利用難しい状況もあり、共働き家庭や一人っ子は放課後に孤立しており、とても心配。コミュニティセンターや児童館は未就学児や主に休日のイベント時のみ機能しており、放課後に子供達だけで自立して遊ばせれる居場所が欲しい。春日市の児童館はとても良く、放課後や休日の子供の集いの場として機能している。是非春日市の児童館のような機能をコミュニティセンター等に導入して欲しい。

【回答】市は、こども計画において、「小学生が移動できる範囲ごとに子どもの居場所を確保することが課題」としており、コミュニティセンターなどを拠点とした子どもの居場所づくりや、地域交流の場の提供を進めることで、子ども・若者が安心して過ごせる場をつくっていくことを目標としています。（引用元、こども計画p30）

また、議会としても子どもの居場所づくりに関しては重要な課題としてとらえており、『子ども館設置』について市に提言書を提出し、文教福祉委員会としても2年間のテーマとして『子ども館の設置』を掲げ、先進自治体の視察なども行っている。

今後も議会としては、引き続き子どもの居場所について訴えてまいります。

【要約】 市民プールを作ってほしい。

【詳細】 市民プールを作ってほしい。

【要約】 市民プールについて、太宰府市と協定を結んで、筑紫野市民も太宰府市民と同じ料金で利用させてほしい。温水プールもある総合運動施設を作ってほしい。

【詳細】 筑紫野市には、泳げる温水プールが無く、太宰府市に、市外者料金を出して行く必要があります。協定を結んで筑紫野市民も太宰府市民と同じ料金にしてもらうか、市内に温水プールもある総合運動施設をつくってもらえないでしょうか。

【回答】 市民プールの設置につきましては、現在、具体的な計画はありません。しかしながら、多くの市民の皆様からご要望をいただいております。スポーツ推進計画の策定時における市民アンケートでは、必要な公共スポーツ施設で第2位という結果でした。健康増進や子どもの水泳学習、世代を超えた交流の場としての意義を議会としても十分に認識しております。

一方で、市からは、市民プール設置は「年間を通じたランニングコストに加え、維持管理費が高額などの様々な課題があることから、慎重に検討すべきと考える」と回答がございました。

また、他市の市民プールを利用した場合の料金については、9月議会で複数の議員が料金助成制度を導入できないか質問しましたところ、市の回答は「他自治体において整備された施設に対し、本市住民の利用を促進することは、当該自治体や住民の理解を得る必要があることなど課題も多く困難である」というものでした。今回の事例にあてはめると、筑紫野市民が太宰府市の市民プールを利用できるようにするためには、太宰府市や太宰府市民の理解を得る必要があることなどの課題があり難しいというものです。

今後は市民の皆様からのご意見も十分に踏まえ、筑紫野市にとって最適な方策を探っていきたいと考えております。

【要約】小中学校の給食費を無償化にしてほしい

【詳細】他の自治体でも導入されている、

小中学校の給食費を無償化にしてほしいです。

10月より改訂された、医療費の無償化は大変有り難かったです。

個人的には、医療費よりも毎月必ずかかる給食費の無償化の方が大変助かります。

給食費を無償化にすることで、子どもが増え、将来の市政にプラスに繋がることも多く、親世代としても大変魅力を感じる施策であると思いますので、ぜひ今後の筑紫野市の政策として議会で協議していただきたいです。

【回答】筑紫野市の給食費は現在、

- ・小学校が月6,060円

- ・中学校が月7,040円

となっています。

ただし、市が物価高騰対策として補助を行っており、

保護者の実際の負担は

- ・小学校が月4,600円

- ・中学校が月5,500円

に抑えられています。

給食費を完全に無償化した場合

令和7年度の児童・生徒数と単価で計算すると

- ・小学校：約4億700万円

- ・中学校：約2億4,000万円

合わせておよそ6億4,700万円の費用が必要となります。

給食費無償化に関する市長の答弁では、

「国が令和8年度から小学校の無償化を予定しているが、制度の詳細がまだ示されていないため、情報収集を行い、しかるべき対応を検討していく。」

とのことでした。

給食費の無償化は、子育て支援の中でも特に効果の大きい施策だと考えています。

経済的な負担を減らすだけでなく、

『子育てするなら筑紫野市がいい』と思われる

まちづくりにもつながります。

一方で、市の財政負担は6億円を超えるため、

国や県の動向を踏まえつつ、市としてどこまで独自支援を拡充できるか、また、子どもの健康を第一優先とし、先ほどの質問でありました【地産地消】や【無添加】もあわせて、今後も議会でしっかり議論してまいりたいと思います。

【要約】市民図書館の利用について、市民図書館のネット予約や借り方をもっと充実させてほしい。

【詳細】本館が遠いので、近くにくる移動図書館を利用してネット予約をした本を受け取っています。

現在、ネット予約をする際、他の方が借りていなければ本の予約ができません。本館に誰にも借りられていない本があるにもかかわらずです。読みたい本が読みたいときに読めないのが不便です。

それと、本の貸出数に制限をかけてほしくないです。何冊でも借りられるようにしたほうがいいです。

読みたい本を、読みたいときに、自由に借りられる図書館づくりに力を入れてほしいです。

街の活性化は、学びの力にあると思っています。

私は、関東関西九州と各地に引っ越した経験がありますが、学力の高い地域は、図書館が充実していると思います。本の蔵書数、ネットでの借り方、貸出数など、苦手意識なく、本を借りられます。

図書館は、子供が学びに触れる数少ない場ですので、未来の人材への投資としてもっと力を入れて欲しいと思います。

【要約】図書館について、市役所跡地、ＪＴ跡地などに、子育て支援、高齢者の居場所などに最適な図書館を作してほしい。

【詳細】市役所跡、ＪＴ跡地などに、子育て支援、お年寄りの居場所などに最適な、武雄市にあるような、図書館をつくってほしいです。

【回答】現在、市民図書館では、本館・移動図書館・ネット予約システムの３体制で運営しております。しかし、現行のシステムでは他の利用者が借りていない本でも「システムのタイムラグ」で予約が制限される場合があります、利便性向上の余地があります。

貸出冊数については、

- ・10冊まで、視聴覚資料は3点。
- ・貸出期間は15日間

と定められています。

この制限は、できるだけ多くの市民の皆さんが公平に本を利用できるようにするためのものです。人気の本が一部の方に長く借りられてしまうと、他の利用者の方が読む機会を失ってしまうため、多くの方が気持ちよく利用できるよう、今後も利用しやすい図書の推進を目指していきたいと思えます。

16.

現在、市には図書館設置の構想はありません。ですが、文教福祉委員会としては、『子ども館設置』という大きなテーマをもとに動いており、先日は視察の際に、図書館・地域の居場所・子どもの居場所の3つが1つの複合施設となった場所に行きました。まさしくそこが地域の拠点となり、どの世代も集える3rdプレイスとなっていました。現在は、図書カード発行数が追いつかないほどとなっているようです。本の冊数を増やしたわけではなく、今まで縦並びで背表紙しか見えなかった図書を、ギャラリーのように一階にも設置することで、『ちょっとこの本読んでみようかな』という気持ちを引き立てるような配置をしていました。本市にもまだ読まれていない本や、実は面白いという本をこのように動線に並べる工夫をし、様々な世代が集うことができる拠点を作れるように議会としても尽力してまいります。

【要約】介護政策について、介護政策を巡る困難な局面に、議会での論戦をどう展開するのか、議員のみなさんの姿勢と視点、抽象論ではない戦略と戦術の具体を示していただきたい。

【詳細】介護政策について

〈主論〉介護を要する当事者とその家族の尊厳と暮らしを守り、担い手である介護保険事業者の存続と経営を支えるアクションを起こすこと、有効な独自の介護政策を提案することは、介護保険の保険者である筑紫野市の議会の使命である、と考えます。一刻の猶予もないほど事態は切迫しており、早急な対応が求められます。

〈説明〉今後、超高齢社会のピークが2025年から2040年頃にかけて到来しようとしているなかで、それに備えるための制度である介護保険は「危機的」であると言わざるを得ません。とくに、在宅介護の要である訪問介護では、有効求人倍率が14倍を超える状況が続いており、介護の社会化の要であるケアマネジャーの有効求人倍率は9.7倍（2025年2月時点、中央福祉人材センター調査）で、介護を受ける入口が閉ざされかねない事態が深刻さを増しています。介護政策の天王山は、「利用料2割負担対象者の拡大」「ケアプランの有料化」「要介護1・2への生活援助サービスの保険給付外し（保険者が実施する地域支援事業への移行）」を主たる争点とする、2027年度改定とこれを受けた第10期介護保険事業計画の策定です。この介護政策を巡る困難な局面に、保険者である筑紫野市の議員として、議会での論戦をどう展開するのかが問われています。議員のみなさんの姿勢と視点、抽象論ではない戦略と戦術の具体を示していただきたい。

【回答】本市の介護保険事業につきましては、令和6年度決算において、地域包括支援センターを中心とした包括的ケア体制や、訪問型サービスA・通所型サービスCなどの地域支援事業が着実に実施され、地域包括ケアの基盤が整いつつあることを確認いたしました。特に、地域ケア個別会議の開催（年間51回）、相談延人員11,090人、生活支援体制整備の協議実績372件など、数字の上でも現場の努力が見て取れます。これらは、介護を要する方とその家族の暮らしを支える重要な成果であると捉えています。

一方で、2027年度の制度改定に向け、介護現場を取り巻く課題は極めて深刻です。要介護1・2の生活援助給付外化、ケアプラン有料化、利用者負担割合の拡大といった動きが進む中で、在宅介護の担い手不足や事業者の経営難が全国的に顕在化しています。議会では、これまでに介護保険制度の維持を求める意見書や介護分野等における処遇改善等を求める意見書を国に提出してきたところで

す。
今回、ご意見でいただいている具体的な戦略と戦術というところまではお示しできませんが、議会としての今後の姿勢は、来年度に策定が予定されている第10期介護保険事業計画に向けて、「介護サービスの質と量の確保」「担い手の処遇改善・人材確保」「高齢者と家族の尊厳を守る地域支援体制の充実」を重点に、介護を“支える側”の視点と“受ける側”の尊厳を両立させ、市民の暮らしを守るため、現場に寄り添った政策的議論を深めていくというものであります。

【要約】子育て支援について、他の市ではオムツ無料配布や子育て支援が充実しています。筑紫野市でももう少し子育て支援について取り組んで頂けないでしょうか。

【詳細】子育て支援について。他の市ではオムツ無料配布や子育て支援が充実しています。筑紫野市でももう少し子育て支援について取り組んで頂けないでしょうか。例えば、1人出産につき～円支給など、物価高騰の中でより子育てしやすい環境を整えていただきたいです。

【回答】筑紫野市では、出産から子育て期まで切れ目のない支援を充実させるため、妊娠期・出産期・就学期の各段階で施策を展開しています。妊娠判定検査費用助成や、妊婦のための支援給付金（妊娠届出時5万円、出産時1人あたり5万円）のほか、子どもの医療費については中学3年生まで所得制限を設けず、自己負担なしの支援を実現しています。これらは、地域格差のない子育て環境をめざした取組です。

近年の大きな前進としては、まず「産後ケア事業」の本格的な開始が挙げられます。令和5年度に事業が始まり、令和6年度には宿泊型・通所型・訪問型を組み合わせた支援へと拡充。利用上限を7日間に引き上げるとともに、里帰り出産などで市外の施設を利用した場合にも助成を行う仕組みを導入しました。母子の心身の回復を支え、出産後の孤立を防ぐ制度として確かな成果が見え始めています。

また、「放課後児童クラブ（学童）での昼食提供」が新たに導入されたことも特筆すべき進展です。これは委員の一般質問をきっかけに、長期休暇中の昼食準備に困る家庭を支援するため、市がモデル実施を決断したもので、現在、市内複数のクラブで実施されています。アレルギーや衛生面など多くの課題を整理しながら運用が始まり、保護者からは「夏休みの負担が軽減された」と好評を得ています。

一方で、一般質問の中で「筑紫野市は独自の子育て支援策が少ないのではないか」との指摘もありました。確かに、保育の拡充・完全無償化、学校給食費の無償化やオムツ無料配布など、財源確保を要する支援は依然として実現に至っていません。

筑紫野市が「子育てしやすいまち」として着実に前進できるよう、議会としても引き続き積極的に提言し、現場に寄り添いながら政策形成に取り組んでまいります。

【要約】小中学校に派遣されているALTについて、市内の小中学校に派遣されているALTの活動状況をしっかり管理監督して欲しい

【詳細】市内の小中学校に派遣されているALTの活動状況をしっかり管理監督して欲しい

せっかくALTが来ているのに授業に積極的に使えていない。時間を持て余しているALTばかりだ。使わないなら要らない。お金がもったいない

【回答】筑紫野市では令和元年度よりALTを5名体制に増員し、業者委託により、市内小中学校へ配置しております。ALTは英語の指導助手として位置づけられ、授業は担任が作成した指導案を基に担任とともに指導を行っています。令和6年度における市のALTの授業等への活用総時数は、3,236時間でした。また、各学校に対してアンケートを実施し、ALTが来るのを楽しみにしたり、コミュニケーションを楽しむ姿が見られるとの回答から、外国語学習に対する効果が感じられています。しかしながら“活かし切れていない”ように見える場面があることは課題と考えています。今後、ALTの授業参加状況の見える化や、担任との事前打合せの充実、成功事例の共有など、よりALTが活躍できる環境づくりを教育委員会に求め、子どもたちが実際に英語を使って学ぶ環境づくりを進めてまいります。

【要約】 給食の牛乳を診断書なしでも不要な人は拒否できる選択肢を作って欲しい。

【詳細】 給食の牛乳を診断書なしでも不要な人は拒否できる選択肢を作って欲しい。

【回答】 筑紫野市では、文部科学省の基準に基づき、牛乳は学校給食の栄養バランスを補う基本食品の一つとして提供されていますが、アレルギーの観点から、牛乳を停止する場合は、医師の診断書提出が原則として必要となっている状況です。しかしながら、実際には乳糖不耐症や宗教、その他にも様々な理由があるため、個々の判断を学校にゆだねている状況です。今後は、国や他自治体の動向を注視しながら、より柔軟な対応ができるよう、教育委員会と協議を進めてまいります。子ども一人ひとりの体質に配慮した学校給食をめざします。

【要約】テニスコート整備について

テニスコート整備・利用環境の改善について、実情の把握・優先順位づけ・予算化を前向きにご検討いただきたい。市民からの声を反映し、スポーツを通じたまちづくり・地域交流・健康づくり推進に繋がる施設整備として、ご検討をお願いする。

【詳細】2025年11月8日（土）に開催予定の意見交換会には都合により参加できませんが、当日の議題に係る内容として、Googleフォームにて意見を提出させていただきます。

このたび、テニスを愛好する市民の一人として、当市のテニスコート整備に関して以下のお願いを申し上げます。ご検討をお願いします。

要望内容

1. 現状認識

当市内の公共・民間を含めたテニスコート数は、種類・アクセス面を含めて、近隣市町に比して決して十分とは言えない状況にあります。

例えば、当市の施設としては、筑紫運動広場（テニスコートを含む）や山家スポーツ公園（テニスコートあり）などが登録されております。

しかしながら、人数・需要・アクセスの観点から、市民が「練習できる時間・面数・条件（ナイター照明・予約制度）」において十分とは言えない状況です。

2. 近隣自治体との比較

例えば、近隣の春日市にある春日公園テニスコートには砂入り人工芝16面・ナイター照明・観覧席等の整備が行われており、休日・夜間含めて広く市民・地域チームが利用できる環境が整っています。

また、福岡市内でも大規模公園にテニスコートが整備されており、例えば名島運動公園（福岡市東区）では屋外テニスコート12面（うち一部照明あり）という規模の施設が紹介されています。

これらと比べ、当市内で「いつでも・気軽に・十分な面数」でテニス練習・プレーができる環境には、改善余地があると感じられます。

3. 市民ニーズ・効果

・子ども・ジュニア世代（学校・部活動・塾も含めて）や一般市民のレクリエーションとして、テニスは健康増進・地域交流・生涯スポーツとして非常に有効です。

・練習場所が近隣市町に偏ると、当市在住・在勤のテニス愛好家が隣市に流出・移動・しがちで、当市におけるスポーツ振興・まちづくりの観点からも機会損失となり得ます。

・夜間照明（ナイター）設備・アクセス駐車場・予約システム・面数拡充が整えば、地域クラブ活動・団体利用・学校部活動の受け皿も増え、結果として市のスポーツ振興・健康づくり・地域活性化に寄与するものと考えます。

4. 具体提案

- ・新たなテニスコート整備候補地の検討（例：市民運動広場拡張・既存公園の活用）
- ・ナイター照明付き人工芝コート（砂入り人工芝等）の導入検討
- ・予約システムの整備・利用時間帯の拡充（早朝・夜間）
- ・駐車場・アクセスの配慮（市内や近隣部からのアクセス改善）
- ・地域クラブ・学校部活動との連携を前提とした整備・利用促進体制の構築

5. お願い

市として、上記のようなテニスコート整備・利用環境の改善について、実情の把握・優先順位づけ・予算化を前向きにご検討いただきたく存じます。市民からの声を反映し、スポーツを通じたまちづくり・地域交流・健康づくり推進に繋がる施設整備として、ご検討のほどお願い申し上げます。

【回答】 テニスコート整備や利用環境改善について、非常に詳しい実態分析とともに、ご意見をいただいております。

ご指摘の通り、筑紫野市には筑紫運動広場や山家スポーツ公園などテニスができる施設はありますが、面数、アクセス、夜間利用のしやすさ、予約の利便性など、決して十分ではないという課題は認識しています。近隣の春日市や福岡市と比べても、気軽に、いつでも練習できる環境には改善の余地があります。

市では、令和6年度末にスポーツ推進計画を策定し、その中でスポーツ施設の充実・環境の整備を基本目標に掲げています。テニスコートの整備や改善についても、この中で議論しなければならない事項であると思います。

今後は、まず利用実態やニーズをしっかりと把握し、優先順位を整理した上で、検討が進むよう、議会も働きかけてまいります。

スポーツを通じた健康づくり、地域交流、そして子どもたちの育成の場として、市民皆様の声をこれからも丁寧に市政へ届けてまいります。

【要約】 一体的なスポーツ施設の整備について

【詳細】 総合体育館やスポーツが出来る公園施設やプールの建設にはすぐにでも力を入れて欲しいですし、計画中であれば具体的な計画を公表して欲しいです。

【回答】 市民の健康増進や地域交流を進めていく上で、スポーツ施設の充実は非常に重要であると認識しております。

市では、令和 6 年度末にスポーツ推進計画を策定し、スポーツ施設の充実・環境の整備を基本目標に掲げ、取り組みを進めています。その中で市民の皆様から整備を望む声が大きかった総合体育館については、優先的に検討することとしており、現在、その必要性を含め、現施設の課題整理や整備を進める場合の規模、事業費、事業手法などの検討が行われています。この件については、議会は適宜、市から報告を受けており、今後、「スポーツ施設整備基本構想」という形で公表される予定です。

また、市民プールの設置につきましては、先ほどお答えした通りです。

【要約】子宮頸がんHPV検査について

【詳細】子宮頸がんは本当に増えていると思います。自覚症状もないまま進行してしまいますし、検診もデリケートな問題もあって中々行けない人も多いです。

HPV感染の有無を自分で調べられる公的検査があれば早期発見すると思います。

【回答】子宮頸がんの早期発見及びHPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンに関するご意見をいただき、ありがとうございます。

子宮頸がんは自覚症状が乏しく、検診が重要である一方、受診へのハードルを感じられる方が多いことについては、議会としても課題と認識しております。

本市では、厚生労働省の方針に基づき、子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）の積極的接種勧奨を令和4年度より再開しております。HPV16型・18型など、発症原因の大部分を占める型の感染を予防できることから、子宮頸がんの約50～70％を防ぐ効果が期待できるとされています。

一方で、接種部位の痛みや腫れなどの副反応が起こりやすいこと、また非常にまれではありますが重い症状が報告されていることも事実であり、本市ホームページでは厚生労働省の最新情報を掲載し、正確な情報提供に努めております。不安な点がある場合は、接種医や相談窓口でご相談いただける体制も整えております。

また、HPV感染の早期発見につながる検査の公的導入につきましても、国や他自治体の動向を注視しながら、調査、研究を進めてまいります。

いただいた「実際に接種した方の体験談など、より身近な情報発信」を求めるご意見は、市民の理解促進に有意義な内容と受け止めております。今後の広報・啓発の充実を図るうえで参考とさせていただきます。

引き続き、市民の皆さまが安心して検診や予防接種を受けられる環境整備に努めてまいります。貴重なご意見をありがとうございました。

事前に出された意見・回答（建設環境委員会所管）

項目

【要約】山家地区道路について、山家地区の子どもたちが安全に学校に登校できるように、歩道の整備、車道幅の拡充をお願いしたいです。

【詳細】山家地区に住んでいます。

毎朝晩、筑山中学校に自転車で通っている生徒さんを見かけます。みなさんヘルメットを被って、一列でルールを守って登校されています。親御さんや中学校での指導が行き届いているのだと思います。

しかし、道幅が狭く、また歩道がある場所が右にあったり左にあったりしているので、人や障害物などを避けながら走っています。電柱やトラックなどにぶつかってしまわないかいつも冷や冷やしながら見ています。

また、子供達が安全にルールを守って走行してくれているのに、煽るような運転をしている車を見ることもあります。突然飛び出してくる車もあります。

子どもたちが安全に学校に登校できるように、歩道の整備、車道幅の拡充をお願いしたいです。また、この時期草が生い茂っていて通行できない歩道もあるので、除草作業をお願いしたいです。よろしくお願いします。

【回答】那珂県土事務所からは、道幅の問題から防護柵の設置は難しいが、路面標示による対策は可能である為、検討を行いますとの報告を受けております。御存知の様に山家は、昔宿場町であった関係上道路際まで家が建てられています。ご要望の内容は、学校、市、PTA、警察で検討会が持たれました結果ガードレール等を作ると大型車両の離合ができないとか新たな問題が発生することから路面表示などがベターとなっています。将来的に再開発とか案が出てきました折にはセットバックの方法もあろうかと存じます。現時点では、このような事でご理解をお願いします。それから筑山中にも問合せしましたが、今のところ自転車通学している子ども保護者からも要望はきていない、今後も自転車通行のマナーを指導していくとの事でございました。

【要約】筑紫野市の森林環境問題について

【詳細】筑紫野市の森林環境問題について

【回答】森林環境贈与税は、森林整備のため地方財源を確保する目的で創設された制度でありまして令和元年度（2019年度）から市町村・都道府県に譲与されています。令和6年度の活用額は2340万円で、森林所有者への意向調査、放置竹林の対策事業、林道の維持・修繕工事です。令和9年度までに63haの間伐が予定されています。因みに山林面積は4333ha/8773ha 49%占めています、国有林はほとんどなく、民有林が主体です。田が860ha(10%)、畑60ha(0.7%)。令和6年度（2024年）からは東日本大震災復興税が廃止され財源確保のため森林環境税が設けられ、市民一人当たり1000円が課税され、私有林人口面積、林業就業者数、人口で配分されています。令和7年度予算額は27,751千円です。平成25年3月から施行した市の建築物における木材の利用促進に関する方針があり、この計画の中で、図書館や公民館、公営住宅、また公共土木工事において推進していく旨を謳っています。Jクレジットについてですが、政府が運営する温室効果ガスの排出削減吸収量を「クレジット」として認証取引できる制度で、森林整備や再エネ導入を通じて創出されたCO2削減を数値化し企業や自治体が活用できます、これの数値化を所管課へ働きかけていきます。

【要約】ＪＴ跡地の利用に関心大です。市内には公園がないので市役所前に皆が寛げる市民公園を作ってほしい。

【詳細】私は、元JT跡地の利用に関心大です。市内には公園がないので市役所前に皆が寛げる市民公園を作って欲しい そのような議論はなされていないのでしょうか？

【回答】JT跡地については売却手続きが進められている最中ですので、具体的な動きが生じた段階で報告があると聞いております。非常に良い場所ではありますが、市としては取得した事業者と協議したい意向ですが相手次第です。筑紫野市の公園についてですが、山口にある総合公園（通称天拝の船）、上原田公園、天拝坂公園など大きな公園が１０箇所あり、コミュニティの公園合わせると１９６箇所あります。特に現在改修中であります山口にある筑紫野市総合公園の天拝の船は、インクルーシブ遊具を設置し誰もが楽しめるように配慮されています、他にブランコ、クライミング遊具、すべり台、ジャングルジム等が設置されます、来年３月末完成予定です。

【要約】つくしちゃんペイの申し込み可能額を増額してほしい。

【詳細】つくしちゃんペイの申し込み可能額を増額してほしいです。追加販売では全て外れます。他の地域は5万円まで可能で一般券も使用できるお店が多く使いやすかったです。

【回答】令和7年度の地域活性化商品券事業は、三回に分けて実施いたしました。一人あたりの申込可能額は、第一弾（デジタル商品券：通称 つくしちゃんペイ）が3万円まで、第二弾（紙の商品券）が5万円まで、そして第三弾（デジタル商品券）が3万円まで（ただし第一弾と合わせて上限3万円）、総額4億8000万円の事業となりました。9月議会において、委員会としては「より多くの市民に効果が及ぶような方策を検討する必要がある」ことを担当課へ要望しております。申込可能額を増額につきましては、次回の事業総額やこれまでの当選者数を考慮しながら検討・働きかけを行ってまいります。

【要約】飛行機の騒音について

地上に居る住民に対して何らかの権利は無いものか。飛行機が着陸態勢になる際（北風向き）低く通過するようで爆音がすごいです。

【詳細】飛行機の騒音についてお尋ね致します。地上に居る住民に対して何らかの権利は無いものか。以前は（2～3年前迄）当むさしヶ丘団地の上空は静かな地区でした。特に飛行機が着陸態勢になる際（北風向き）低く通過するようで爆音がすごいです。尚当団地の自治会に相談するも進展無しです。騒音測定行った結果すら何の返答無い。

【回答】お尋ねの文面から察しますと、平成16年1月に整備された南側ILS（計器着陸装置）による着陸時の騒音だと思われます。悪天候の視界不良時でも南側からの着陸を可能にするもので、大刀洗、JR原田駅、天拝小学校上空から、福岡空港へ向けて低空飛行で高度を下げています。このため近くにお住まいの地域では騒音がします。このような状況ですが、国土交通省の福岡空港事務所では、毎年2回、定点での騒音測定を行っており、最近の調査でも本市の騒音は、51 d Bでした（R7.7.1～7の7日間。むさしが丘団地第2公園）。このため本市は、福岡空港の航空機騒音の対策区域には含まれていません。対策区域は広い順に第一種区域（62db以上）、第二種区域（73db以上）、第三種区域（76db以上）とありますが、これらの区域外に位置しており福岡空港の対策事業（住宅防音、移転補償、再開発地域、緑地造成）の対象になっておりません。対象地域は福岡市博多区・東区の空港周辺、大野城、大宰府、志免町、須恵町が対象となっています。国土交通省福岡空港事務所 092-260-5900（内線4500）担当沢田さんからも「飛行機材の低騒音化などの対策を取っていて騒音は減少してきている。筑紫野市は空港から離れているため対策区域化は難しい」との事でした。ご理解の程お願いします。

【要約】ガードレールの設置基準はどの様になっていますか

危険だと感じる箇所へのガードレールの設置を区長を通して市に要望したが、市の回答は当該箇所は交通量が少ないため設置できないとのこと。市の方針に疑問を感じるので議員の皆さんのご意見を賜りたい。

【詳細】テーマ

ガードレールの設置基準はどのようになっていますか

理由

私は市内の中山間地に住んでいます。地域内の市道は急な坂道や急な曲がり角もあります。その内の一か所について、危険だと感じ区長さんを通じて市にガードレールの設置を要望しました。

市の回答

市の回答は、当該箇所は交通量が少ないため設置できないとのことでありました。そのため、未だガードレールは設置されておりません。

疑問

このように道路の危険箇所を交通量の多い少ないで判断される、市の方針にははなはだ疑問を感じます。議員の皆さんのご意見を賜りたいと存じます。

【回答】当該地域は、自治会バスは何百回も通っています、この自治会バスは左回りで坂を登りますが1回も離合したことはないということです。上から降りてくる場合危険性はあるかも知れませんが反射鏡を市が設置しています。地域の方に聞きますと、当該箇所を上から降りてくる人はほとんどなく、反対側すなわち左回りで降りていくとの事でした。反射鏡が設置されており、通行車両も少ないです。西日本新聞掲載の交通事故マップでも事故は起きておらず、この状態で良いと判断します。

【要約】企業誘致を頑張してほしい。

二日市温泉をもっと盛り上げてほしい。

つくしちゃんペイを今後も出してほしい。

みんなが集えるお祭り、バザーを開催できないか？

【詳細】企業誘致を頑張してほしい

二日市温泉をもっと交通の便を良くして盛り上げてほしい

つくしちゃんペイを今後も出してほしい

みんなが集えるお祭り、バザーを開催できないか？

【回答】商工会や観光協会さん主催で天拝公園にて、4月開催の二日市温泉藤まつり、10月開催の二日市温泉と天拝山観月会・花火も上がり2万人の来場者で賑わいをみせております。その他に10月末にはパープルフェスタ、11月1日には土曜夜市×パープルナイトin二日市が開催されました。11月9日には二日市八幡宮の公孫樹まつり、12月20日にはクリスマスマルシェ等が開催されます。

ご要望につきましては、これからもしっかり商工観光課へ働きかけを行って参ります。企業誘致につきましては、福岡・博多から列車で15分～20分圏内、高速道路筑紫野ICあり、国道3号線、県道が10本以上縦横無尽に走り交通網に優れており。これからも市に働きかけていきます。

【要約】 ペットの飼育について

- 1 犬の散歩の方々を多く見かけますが、なかには糞を置き去りにしていく方々がいる。
- 2 猫を放し飼いされてるかたがたもいます。一階のベランダの土のところに糞をしています。匂いがたまりません。

【詳細】 毎朝ウォーキングしてます。気になることがあります。

- 1 犬の散歩の方々を多く見かけますが、なかには糞を他人の玄関先に置き去りにしていく方々ごいます。一度すると他の犬も匂いで立ち止まりオシッコをして行きます。そして手ぶらで散歩してる方もいます。糞は置き去り！散歩してても下を見ないと糞を踏んだりします。
- 2 猫を放し飼いされてるかたがたもいます。一階のベランダの土のところに糞をしています。匂いがたまりません。

飼い主に注意しても同じことの繰り返し！

アレルギーの方は本当に困っています。

罰則の強化とかなんとかありませんか？

【回答】 本当に困りますね、当該地の衛生や環境に関わる問題でよく理解できます。

現在、市は猫については、お試しで、猫よけ器を2週間程度で貸出しするなどしております。犬については、犬の糞をしないように注意喚起する啓発ポスターをラミネートしたものなどを市民に提供しています。また、市と自治会が連携して飼い主マナー講座の開催とか、効果がない場合特に糞の放置が多い場所には区長さん経由で防犯カメラの設置も考えられます。

他にも、ふん害等防止条例を制定している自治体もありますが、やはり飼い主のマナーの問題もありますので、条例の効果について課題があると認識しておりますので、議会としても、委員会等で調査していきたいと考えております。

【要約】道路整備について

筑紫野市は、歴史もあり古い民家も多くあるが、道路整備が遅れてる。たとえば、二日市小学校の前の車道などは狭く、歩道が逆側は無い状況です。

早急に対応すべきではないでしょうか？

【詳細】いつもありがとうございます。

筑紫野市は、歴史もあり古い民家も多くあると思います。しかし、道路整備が遅れてると感じます。たとえば、二日市小学校の前の車道などは狭く、歩道が逆側は無い状況です。

早急に対応すべきではないでしょうか？

民家を買収してでも広くするべきと考えます。

また、右折レーンが無いため渋滞も酷いです。

昨年、引っ越してきましたが、とても住ずらく、自転車すら走る道がありません。

間違いなく、今後人口減少が進むと思います。

議員の方たちや、職員はご理解しているのでしょうか？

何かしらのご対応をよろしくお願いいたします。

【回答】特に高齢者や子ども、歩行者の安全性確保、重要なお指摘だと思います。現在、片側歩道で安全が確保できるよう、小学校の周りなどはガードパイプをつけるなどしています。また、学校が通学路を点検して、危険箇所を上げてもらって、警察と連携しながら、必要な対策を行う通学路の安全プログラムなどを実施しており、安全確保しているところです。両側の歩道となると、用地を確保しないといけないので、課題としては大きいと認識しており、現実的には難しいと考えます。できることといえば、カラー舗装ぐらいではと考えます。まずは、そのような要望を市から県にだしていくような形になるかと思いますので、ご理解いただければと思います。

事前に出された意見・回答（予算審査委員会所管）

項目

【要約】 筑紫野市の各種赤字に対する市議会の対応認識を聞きたいです。

【詳細】 筑紫野市の各種赤字に対する市議会の対応認識を聞きたいです

【回答】 筑紫野市の各種赤字に対する市議会の対応認識を聞きたいというご意見をいただいております。この件につきましては、コミュニティバスつくし号の運営状況を例にとり回答させていただきます。

平成31年1月4日から運行開始しておりますつくし号は、市内の公共施設、医療機関、商業施設との間を結ぶコミュニティバスとして運行し、鉄道、路線バスをカバーしている状況であります。

かかった経費から収入を差し引いた額を運行委託料として算出しており、令和4年度は約24,600人が利用して運行委託料約1530万円、令和5年度は約27,900人が利用して運行委託料約1560万円、令和6年度は約30,000人が利用して運行委託料約1750万円となっています。

このように支出の方が多い状況で、いわゆる赤字となっていますが、筑紫野市民の皆様の生活の利便性向上のために必要な事業であると考えています。その一方で、持続可能な事業とするために費用対効果をあげるための工夫や努力をしなければならないと考えておりますので、そのような視点で行政を監視していきたいと考えています。

他にも様々な事業がありますが、同様に筑紫野市民の皆様のために必要な事業であると考えていますので、ご理解をお願いします。

事前に出された意見・回答（議会運営委員会所管）

項目

【要約】筑紫野市議会のハラスメント問題について

【詳細】この件について田中氏の処分はまだですか？何事もなかったように活動されている様子ですがまさか議会は厳重注意という名の何もしないでななあで終わりですか？田中氏本人は論外ですが処分をしない議会も同類に見なされます。ちなみに形だけのハラスメント研修なんて受けさせても無意味、税金の無駄です。

記事にあるようなハラスメントをしたことが事実であるならば市議会議員として以前に一社会人として問題です。こんな気持ち悪いセクハラをしたり子どものいない女性を欠陥呼ばわりするような人間に市政に関わってほしくないです。こんな人間が問題発覚後も市政に関わっていると考えるだけで筑紫野市議会にも嫌悪感です。被害に遭われた方も市議会議員であるならばハラスメントに対し刑事でも民事でも毅然と訴えを起してください。市民は支持します。こんな不適合者の報酬に税金が使われていると考えるだけで納税意欲が失せます。報道されていた時期は筑紫野市民として恥ずかしかったし怒りを感じます。自分の住んでいる筑紫野市に誇りを持たせてください。田中氏は筑紫野市の恥、汚点です。

またハラスメントしたことを記憶していないなどと発言しているようですが、記憶に残らないほど日常的に問題行動をしているのか記憶力が低下しているのかどちらですか？どちらにしても市議会議員として最低限のモラルも記憶力も持ち合わせておりませんので速やかに除籍、引退させてください。市民はこんな明らかな不適合者を辞めさせるリコール活動をするほど暇ではありません。議会の自浄能力を示してください。議会の真っ当な判断を期待します。よろしくお願い致します。

【回答】当該議員のハラスメントに関する件が本年3月3日から3月5日にかけて、新聞、テレビ、インターネットなどで報道されました。

これらの報道の中での当該議員の発言は、それまでに議長が行った注意とその内容を否定しただけでなく、筑紫野市及び筑紫野市議会の品位と名誉を著しく傷つけたものであり、当該議員は市民の負託を受けた市議会議員として資質に欠けると言わざるを得ませんでした。

よって、筑紫野市議会は、本年3月26日に当該議員に対する辞職勧告決議を全会一致で可決し、自らの意思により、直ちに市議会議員の職を辞するよう勧告いたしました。

つきましては、筑紫野市議会は、できる限りの措置は講じたと認識しております。

事前に出された意見・回答（議会改革推進会議所管）

項目

【要約】 指定地域共同活動団体制度について

【詳細】 〈主論〉 2024年の地方自治法改正により補足的自治権と並行して提起されたのが、今後の自治体の行政運営、公共サービスのあり方に係る重要な問題であり、「公共私連携」像として設計された「指定地域共同活動団体制度」の創設です。地域運営組織などの地域団体が地方自治体と連携し地域活動を担う仕組みであるこの制度は、住民による「共助」を推進する一方で、地域団体が行政サービスの“下請け機関化”される可能性や、地方自治や地域社会をひっくり返すほどの大きな問題を含んでいる、といった懸念も示されています。地域の多様な主体の参加を得、公共や自治の本質を問い直し、地域社会と住民の役割を掘り下げる広範で丁寧な熟議を組織することが求められている、と考えます。

〈説明〉 「自治体が公共サービスに係る事務を直接行うのではなく、地域の多様な主体と連携・協働して処理する」と、定めたこの制度はできましたが、それをどう使い、どんな内容にするかは、地方自治体の判断、条例に委ねられています。制度を活用するに当たっては、市町村の自主性・自立性が尊重されることが不可欠であるとし、法律が求める最低限の条例規定事項は指定地域団体の活動内容をはじめとする指定に係る要件などとし、法律の規律密度を低くすることで、自治体の制度設計の自由度が高い仕組みになっています。市町村の創意工夫と知恵が大いに発揮される必要があります。制度内容に関わる検討事項は多くありますが、条例で「特定地域共同活動」をどう規定するのか、指定団体にふさわしい具体的な要件がきちんと設定されるのか、基本事項として最も重要です。地方議会の役割・責任は大きく、その力量が問われています。ただ、制度をどう使うかは地方自治体の判断に委ねられているとはいえ、実際の運用になれば、公の施設の指定管理制度の時がそうであったように、新しい制度を率先してやるのが原則であるかのように進められる可能性があり、悠長に構えるわけにもいかないようです。この制度を、生活支援機能を軸としたコミュニティの強靱化、家族機能の社会化の推進力として再設計することが望まれます。

【回答】 この制度は住民による「共助」を推進する一方で、地域団体が行政サービスの「下請け機関化」される可能性や、地方自治や地域社会への影響など、大きな問題を含んでいますが、生活支援機能の充実などの可能性を持っております。

現状として日々の生活をするための、ちょっとした支援があれば自宅で暮らし続けることができる・・・という方たちへの支援が介護保険制度では不十分だと認識しております。

現在、筑紫野市では、筑紫南コミュニティ協議会において、ちょっとした困りごとを、地域の人による、地域の方の支援活動として「たすけ愛みなみ」という活動が発足して5年目を迎えておりますが、この活動についての資金的な支援を求め、令和7年度から助成金制度がはじまったばかりです。残念ながら介護保険を財源としていることから、対象者が介護保険該当との制限があることなど、課題をもっております。また、こども食堂、子どもの居場所などもこんにちな課題ですが、持続可能な活動とするためには、活動を支える確実な財源、住民の活動を支える体制などが不可欠です。

今回ご提案の、「指定地域共同活動団体制度」は、令和6年の地方自治法の改正により創設されたもので、今年の1月に総務省自治行政局市町村課からの説明資料を得ています。これからの地域活動の強化につながるのか、まずは調査研究からすすめ、各地域での取り組みにつなぐことができればと考えております。

事前に出された意見・回答（各会派）

項目

【要約】・筑紫野市の魅力、セールスポイントは何か。

・筑紫野市の弱点（問題点）は何か。

・将来的に市民が決断したり、受け入れざるを得ない問題がありましたら率直に指摘いただきたい。

・市の施設には、いまいち魅力を感じない。運用そのものも使い勝手が悪く感じる。指定管理者制度を用いて魅力的な活用をしてほしい。

※意見を出された方が各会派からの回答を求めているものです。指定地域共同活動団体制度について

【詳細】①議員さんが、筑紫野市をアピールするセールスマンだったら、筑紫野市の魅力、セールスポイントは何ですか？②①の場合、逆に「筑紫野市の弱点（問題点）は」と顧客から質問されたら、何と答えられますか？複数の会派から参加されると思いますので、できれば、複数の会派又は視点から、具体的な統計、数字と改善案を伴った物が望ましいです。指摘は1つでも構いません。（例：市の財政予算は健全だが、市の（市民の）自由になるお金の比率は低い、など）③政治というものは、良い話ばかりではなく、市民に耳の痛い話、苦しい決断（何かを諦める、究極の二択など）を必要とする場合があります、むしろその方が多いかもしれません。例えば、私が住む行政区の公民館は、ハザードマップ上の安全地帯ではなく、移転には相応の負担が必要と聞きました。これは、市の全体の話ではありませんが、（例）小さな行政区は統合が必要、人口の少ない地域では将来的に交通空白化は避けられない、等、選挙の場ではないので、将来的に市民が決断したり、受け入れざるを得ない問題がありましたら、率直に指摘頂けないでしょうか？④博物館や竜岩自然の家など、市の施設には今一魅力を感じません。設備そのものの問題もありますが、運用そのものも使い勝手が悪く感じます。指定管理者制度を用いて魅力的な活用をして欲しいのですが、そもそもそのような考えはないのでしょうか？

【回答】別紙回答

議会報告会 事前に出されたご意見7番に対するご回答

会派つくし野

①筑紫野市の魅力、セールスポイントは何か？

- ・交通の便が非常に良い点。JR と西鉄が並行して走っており、九州自動車道の IC があって、都市高速の太宰府 IC も近く、国道3号線・県道17号線(旧県道5号線)まで南北に通っている。高速バス乗り場からは福岡空港への直行便もある。
- ・古い歴史がある点。江戸時代には長崎街道や薩摩街道、日田街道が通り、二日市宿や筑前六宿の山家宿、原田宿が賑わっていた。また、九州最古のお寺である武蔵寺、九州最古の温泉地である二日市温泉など、九州や福岡県内の最古級の資源が多く存在するのも魅力。かつて九州全域(又は北部全域)を指す言葉であった『筑紫』という言葉に冠しており、地形的にもはるか昔から交通の要所であったことが前述のように過去から現在に至って交通至便な地域を形成している。
- ・博多の奥座敷『二日市温泉』を有している点。九州最古の温泉地と言われており、日帰り温泉や宿泊施設もある。
- ・都市部だけでなく自然も多く有している点。都市部を挟んで東西に、宝満山・天拝山・阿志岐山城など自然も歴史もある山が並び、また山林も農地も多くあって都市部と自然が共存するまちとなっている。
- ・病院:筑紫地区に3つある地域支援病院のうち、2つが筑紫野市にあり安心できる点。
- ・イオンモール筑紫野やゆめタウン筑紫野、シュロアモール筑紫野や筑紫野バレッサなど、商業施設が数多くあり買い物をするのに困らない点。
- ・高齢化率が26.82%と低く、県内でもトップクラスに低く、健康年齢も若い元気なまちである点。
- ・大きな災害が少ない点。
- ・財政力指数が昔に比べて改善しており、0.746 と筑紫地区5市内では大野城市の0.778 について2位となっている点。

②筑紫野市の弱点(問題点)は何か？

- ・ふるさと納税も黒字化したなか、黒字を市民に還元できているか疑問である点。他自治体はふるさと納税の儲けについて、使い方に市民意思を上手く反映させている自治体もある。
- ・特徴的な産業が無い点。物を作る企業を起こす、又は誘致することが必要。
- ・子育て支援策が乏しい点。子ども館も無く、子育てに資する施設や制度が遅れ気味である。
- ・スポーツ施設に乏しい点。総合体育館・プール・公式グラウンド・公式テニスコートなど、近隣市にはあって本市に無いものが現状多い。

③将来的に市民が決断したり、受け入れざるを得ない問題があれば率直に指摘してほしい

- ・地域公共交通について。民間が運営する西鉄に赤字補填して運営していてもなお続けられず、のり一とへの転換などは図っているが、人材不足が大きな問題となり将来的な路線廃止は免れない。御笠の自治会バス、のり一との拡大など、MaaS を推し進めていく必要がある。
- ・行政区統合と区長制度とコミュニティ制度について。なり手不足で地域コミュニティの運営が成り立たなくなってしまう将来が見えてきている。区長報酬見直しや行政区統合などを早急に進めていく必要がある。また、都市部に無関心層が多くなっており、地域行政に関心がない人たちも若者を中心に増えている(特にマンション在住者等)

④市の施設にイマイチ魅力を感じない。設備だけでなく運用面でも使い勝手が悪く感じる。指定管理者制度を用いて魅力的な活用をしてほしい

・指定管理者制度を既にとっている施設も8つほどある。さるびあ、文化会館、体育協会等。しかし改めて既存体制のままでいいのかは施設ごとに判断していく必要があると考えており、PPP、PFIなどの制度が最適かは議論していくべきと考える。

◎既に指定管理者制度を取っている施設8つは事前に調べておく

市民会議

①魅力

福岡都市圏で交通の便がよい。山や川があり緑が豊かである。

②弱点

公共施設の整備が遅れており、第七次総合計画に向けて、体育館、プール、子ども館などを提言しております。

③市民とともに考えないといけないこと

財源は限られており、何を選択するかを市民全体で考えなければならない。
例えば、ニセコ町が出しているまちづくりを市民全体で考える仕組みが必要かと。

④博物館や竜岩など、あまり魅力を感じないが

天拝総合公園は子ども達の意見を取り入れ整備中です。なお、指定管理者制度については、成果をあげているところもあります。

自治体に取り組むべきことについて、課題が多いと思っています。

公明党筑紫野市議団

1. 筑紫野市の強み(アピールポイント)

筑紫野市は、JR・西鉄・高速道路が整備され、福岡市中心部へ 30 分前後でアクセス可能な利便性の高いベッドタウンであり、人口も比較的安定している。二日市温泉や天拝山、武蔵寺などの自然・歴史資源が身近にあり、落ち着いた住環境は子育て世代や高齢者にとって住みやすい。また、イオンモール筑紫野やゆめタウン筑紫野など大型商業施設、医療機関も充実しており生活利便性が高い。天拝公園の大型遊具や学校給食のセンター方式など、子育て環境にも一定の評価がある。

2. 筑紫野市の課題(弱点)

子育て支援の不足が大きな課題であり、全天候型の遊び場や市民プール、総合体育館の未整備、保育園の入所保留、不登校児童生徒への支援体制の強化が求められている。新興住宅地の増加により地域コミュニティの担い手不足が進み、自治会活動の負担増も顕在化している。また、温泉や歴史資源を活かしきれない観光 PR の弱さ、高齢化の進行に伴う地域公共交通や支援体制の不整合、ふるさと納税が地域課題解決に十分活用されていない点も課題である。

3. 将来的に市民が受け入れざるを得ない課題

今後は、有償ボランティアなど住民主体の生活支援への参加、地域猫活動への理解、SDGs の取り組み推進など、市民一人ひとりの関与が不可欠となる。現状のままでは社会保険料の増加が見込まれ、国による財源確保策等を期待する。

4. 指定管理者制度に対する考え方

体育・文化施設など一部施設は指定管理者制度を導入しているが、図書館等については、教育的役割や安全管理責任の観点から教育委員会直営が適切と市の考えもあるので、今後の市の方針見直し等も含めて、会派として引き続き調査研究を進めていく。